

この度、大阪観光大学を卒業される皆さん、同じく観光大学別科を修了される皆さん、そして保護者の皆さん、まことにおめでとうございます。本学での学びを終えて、皆さんはそれぞれの新しい世界に進んでいかれます。これから始まる新しい生活を前に、希望に胸を膨らませていることでしょう。

しかし、一方ではいま世界には戦争という暗雲が立ちこめています。ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ地区への攻撃はすでに数年間続いてきましたが、最近ではアメリカ・イスラエルとイランとの間で、新たな戦争が勃発しました。これらの戦争の中では、前線で戦う兵士はもとより、子どもたちを含めて普通に暮らしていた多くの民間人が命を落としています。

重要なことは、これから始まるであろう皆さんの新しい生活もまた、こうした戦争の影響を直接・間接に受けざるを得ないということです。皆さんが世界市民の一員である限り、自分は無関係ですという態度は通用しません。皆さんの一人一人が、自分取るべき態度を自分で判断できる力が必要となります。

どの国の人々、どの地域の人々も同じ人間どうしです。皆さんには、そして誰にでも大切な家族や友人・恋人があります。大阪観光大学がもっとも重視していることは、すべての人間を仲間として捉え、同じ地球上で生きていく者として相互に共感しあう力（共感力）を持つことに他なりません。本学では、こうした共感(empathy)できる力を「楽しむ力」(the art of joining)と表現しています。

この楽しむ力の育成においてもっとも重要なことは、「批判的精神」(critical mind)を養うことです。これは、敵対と憎悪に満ちた「誹謗中傷」(defamation,

slander) や状況に流された偽りの共感としての「同調」(conformity) とは、真逆の概念です。

批判的精神を育む上で大事なことは、多くの知識を学び、対象の肯定的な側面を多角的に認識するとともに、批判すべき点については事実と明確な根拠に基づいて批判する態度を身につけることです。これはすなわち、「科学的精神」にほかならず、大学教育及びそこに至るプロセスにおいて、皆さんはまさにこの訓練を日々受けてきたわけです。

いまひとつ大事なことは、豊かな感性 (sensitivity、sense) を育むことです。共感とは、知識だけで成り立つわけではありません。美しいものを美しい、醜いものを醜いと感覚的に感じとることが必要です。この点で言えば、大阪観光大学のキャンパスは、異なる民族・言語・文化で充ちています。皆さんは相手が外国人であることを知識で学ぶと同時に、それぞれがやはり同じ人間であることを体感 (experience) してきました。こうした経験は、知らないうちに皆さんの共感力としての楽しむ力を豊かにしています。

このキャンパスで学んできた楽しむ力を、是非ともこれからの新しい生活に活かしていきましょう。戦争のない平和な世界、共感に充ちた誰もが幸福な世界を実現することに、どうか皆さんの力を社会に役立てていってください。

Tourism for Peace! 皆さんのますますの幸せを祈ります。

2026年3月18日

大阪観光大学 学長 山田良治